

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	ビジネスコミュニケーション	
科目基礎情報							
科目番号	0007		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	メカトロニクス工学専攻		対象学年	専1			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	野田尚史・森口稔『日本語を書くトレーニング』（ひつじ書房）						
担当教員	和田 茂俊						
到達目標							
1、日本語での正確な表現ができ、ビジネスの場面における人間関係やコミュニケーションのよりよいあり方について理解できる。 2、エンジニアが扱う報告書、製品マニュアル、企画書、技術論文等の技術文書の基本的な作成ができる。 3、コンピュータを使って、社内報告会、学会発表等の資料を作成し、プレゼンテーションができる。 (D-f)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
コミュニケーションの方法	正確な日本語表現ができ、ビジネスの場でのよりよいコミュニケーションのありかたが十分に理解できる。		正確な日本語表現ができ、ビジネスの場でのよりよいコミュニケーションのありかたが理解できる。		正確な日本語表現や、ビジネスの場でのよりよいコミュニケーションのありかたについて十分には理解できない。		
技術文書の作成方法	報告書、技術書などの技術文書を魅力的な表現で作成できる。		報告書、技術書などの技術文書を作成できる。		報告書、技術書などの技術文書を十分には作成できない。		
プレゼンテーションの方法	コンピュータを使って資料を作成し、魅力的なプレゼンテーションができる。		コンピュータを使って資料を作成し、プレゼンテーションができる。		コンピュータを使って資料を作成し、プレゼンテーションをすることが十分にはできない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	ビジネスの場面における基本的なコミュニケーションのあり方や、文章表現の基本的な知識と技術について学習する。報告書や製品マニュアル、企画書、技術論文等の技術文書の書き方についても学び、ビジネス文書の概要、作成の注意点等を理解する。さらに、オーラル・コミュニケーションの実践としてプレゼンテーションを一人ずつ行う。						
授業の進め方・方法	演習、プレゼンテーション等を中心に行う。 第1～8週を和田、第9～15週を梶島が担当する。						
注意点	文書あるいは口頭での発表が中心となるので、主体的に授業に参加することが望ましい。 社会人として必要となるさまざまな文書を実践的に学ぶ授業である。楽しみながら、「書く」「話す」それぞれの能力を高めてほしい。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス プレゼンテーションの方法		授業の目的と方法を理解する。		
		2週	正確な説明と描写		正確な説明と描写ができる。		
		3週	お知らせのメール		お知らせのメールを書くことができる。		
		4週	お願いのメール		お願いのメールを書くことができる。		
		5週	マニュアル		簡単なマニュアルが書ける。		
		6週	広告		広告チラシが書ける。		
		7週	オーラル・コミュニケーション プレゼンテーションの実演 1		プレゼンテーションにおいて企画・提案を行うことができる。		
		8週	オーラル・コミュニケーション プレゼンテーションの実演 1		プレゼンテーションにおいて企画・提案を行うことができる。		
	2ndQ	9週	企画・提案		簡単な企画・提案ができる。		
		10週	ニュースレター・報告書		簡単なニュースレターや報告書が書ける。		
		11週	アンケート		アンケート用紙が作れる。		
		12週	自己アピール		履歴書・エントリーシートなどが書ける。		
		13週	レポート・論文		レポート・論文を書く際の注意点を理解できる。		
		14週	オーラル・コミュニケーション プレゼンテーションの実演 2		より魅力的なプレゼンテーションの方法を理解できる。		
		15週	オーラル・コミュニケーション プレゼンテーションの実演 2		より魅力的なプレゼンテーションの方法を理解できる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題 60	相互評価	態度	ポートフォリオ	発表 40	合計
総合評価割合	0	60	0	0	0	40	100
評価	0	60	0	0	0	40	100